

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1 事業名

「登録文化財の町屋を、まちなか活性化の拠点・核施設として整備する事業」

2 事業実施期間

平成22年6月11日～平成23年2月26日

3 事業主体

旧日光街道幸手を感じる会

4 事業の計画および成果

(1) 事業を計画した背景

① 木造住宅の維持・保存の啓発

登録文化財の岸本家主屋を含め幸手市内にはまだ多くの木造の古民家が残されているが、地元の財産としての認識が希薄であり、観光資源や生活の場として活かされずに朽ちるのを待っているかのような状況の建物が目立っている。この度活性化の拠点・核施設として整備した町屋は幸手市内で最も古いとみられる特徴ある民家であり、これを現代に蘇らせる過程を市民・住民に広報し、参加してもらうことでまちおこしの一助となる。

また、この町屋の再生に当たって幸手市の歴史や文化に関する講演会やワークショップを通し木造民家を再生・維持するのに必要な知識の普及と啓蒙を図ること、他の古民家の所有者に対し町の活性化のための保存・活用への意識が高まり、協力を願うための足がかりとしたい。

② 木造住宅の保存と担い手育成

木造住宅は耐震強度の面から、多数の金具を使用する等で成り立つ風潮が定着しつつあるが、古来建築物は木造であり木を読んで組み上げる、高度かつ工夫された木工組み手等の技術を生かして建設され、千年の時を経て今日に残されているものもある。

五重塔の支柱の技術をスカイツリーの建設に応用したような技術がありながら、現代においては高層建築やコンクリート主体の建築物が多く見られる。

市内に残る古民家等の修復・保存のため、今後木造住宅技術の担い手を育てることは、技術の継承のみならず、歴史的建築物保存を後世につなげる役割を担っている。それらの技術・工法を理解してもらい、町屋の保存・活用への意識を高める必要がある。

(2) 事業の成果

① 木造住宅の維持・保存・修理を通じた成果

工学院大学後藤教授の講演会で、先進的なヨーロッパの木造建築物や町並みの維持・保存制度が価値を高め、人に感動を与えることを教わる。一般的建築物の建設・修理は周りを囲い行われるので完成までの状況がわからない。今回の登録文化財の町屋修理に関しては、家財・家具の搬出、建物の曳き家、石畳の作成等、オープンなイベントにより市民に見て、感じて、体験してもらえたことは、江戸の建物を修理していく工程を共通認識として持つことができた。このことは市民や地元設計事務所等々多くの人から反響があり、市内に残る他の木造民家・商家を見学したい、保存を働きかけたい等の街の活性化につな

がる機運が高まり今後の活動が期待できるようになった。

また、建築作業を体験するため「民家と木～伝統大工ワークショップ」を開催、ヘリテイジサポーターとして参加した市民やNPO日本民家再生協会民家の学校の受講生も加わり、現役大工の指導の下、昔の建物の柱等に見られる継ぎ手など、金物に頼らない伝統工法の技を紹介し、受講生にも実習させた。

② 目的の達成状況

活性化の拠点・核施設として整備した町屋は旧日光街道と御成り街道が幸手市内に入る場所にあり、交差点にかかる所でもあるので比較的目標立つところに位置している。

このためイベントとして行った「曳き家工事」や「石畳を創ろう」などがマスコミ報道され、地元住民がインターネットによる実況中継もされた。このように修理工事中全般に注目度は高く、この事業が多くの住民に認識される価値あるものと考えられる。実際に、対象登録文化財の修復完了と所有者の積極的公開、講習会やワークショップへの参加者多数、幸手市職員及び幸手市商工会の直接参加、更には地方の団体による視察来訪の受け入れなど、当会としても大きな進展があったと見るが、これらはその後の地域活性化への活動計画の端緒であり、更なる活動を続ける必要があると認識しています。

(3) 事業経過

補助事業承認以前

日付	項目	内容
平成21年 11月12日	第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> 「旧日光街道幸手宿を見直す会」を発足
11月15日	第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> 会の名称を「旧日光街道幸手を感じる会」と決定 登録文化財の岸本家主屋を利用することで、地域活性化の拠点に活用したい
12月12日	第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> この動きに応援してくれる人たちをどう集めてどうまとめていくか？そして、岸本家で何をやっていくか？まずは地域の人たちに存在を知ってもらうこと
平成22年 1月17日	第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> 12月17日幸手市役所にて「旧日光街道幸手を感じる会」発足の報告と協力依頼をお願いしてくる
2月28日	第5回会議	<ul style="list-style-type: none"> 古商家、古民家、パンフレットマップ「歴史を感じるまち幸手」を作成

承認(平成22年6月11日)以降

平成22年 6月12日	第9回会議	<ul style="list-style-type: none"> 岸本家の「登録文化財の町屋を、まちなか活性化の拠点・核施設として整備する事業」説明
6月22日	交流事業	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県の宇都宮市河内自治会議委員の視察
6月28日	第10回会議	<ul style="list-style-type: none"> ヘリテイジサポーター募集説明会
7月 3日	第11回会議	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市からの視察状況報告
7月17～ 18日	引越し片付けイベント	<ul style="list-style-type: none"> 岸本家主屋の家具・家財をヘリテイジサポーターの協力で搬出・移転を行う。
7月24日	第12回会議	<ul style="list-style-type: none"> 岸本家の引越し作業の反省
8月 7日	第13回会議	<ul style="list-style-type: none"> 講演会開催計画
8月12日	第14回会議	<ul style="list-style-type: none"> 講演会について
9月11日	第15回会議	<ul style="list-style-type: none"> 9月18日講演会について
9月18日 (午前)	第1回講演会	<ul style="list-style-type: none"> 「幸手の建物を活かし、幸手の文化を生かす」 講師:「工学院大学建築学科 教授 後藤 治 氏」
(午後)	曳き家イベント	<ul style="list-style-type: none"> 岸本家主屋の曳き家工事を市民に公開
10月 2日	第16回会議	<ul style="list-style-type: none"> 9月18日講演会反省事項
10月10日	ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 「民家と木～伝統大工ワークショップ」
10月23～ 24日	交流事業	<ul style="list-style-type: none"> 深谷市の「埼玉住まいまちづくり交流会」に当会の活動をパネル展示して参加
11月 6日	第17回会議	<ul style="list-style-type: none"> 幸手市市民文化祭について参加報告 第二回講演会について役割分担等打ち合わせ
11月6～ 7日	交流事業	<ul style="list-style-type: none"> 幸手市文化祭に参加しパネル展示と、パンフレットマップの配布

11月13日	第2回講演会	<ul style="list-style-type: none"> テーマ: 「日光道中幸手宿うけうりばなし」 講師: 野澤 秀吉 氏
12月4～5日	視察研修	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県大崎市 古川地区の街づくり会社「醸室(かむろ)」の見学及研修会 株式会社 池月道の駅(あ・ら・伊達な道の駅)
12月8～9日	視察研修	<ul style="list-style-type: none"> 登録文化財による街おこし参考事例として工学院大学後藤治教授のお薦めにより高知県室戸市吉良川、奈半利町視察
12月11日	第18回会議	<ul style="list-style-type: none"> 幸手を感じる会 市長ならびに商工会長と事業経過報告と意見交換会
1月 9日	第19回会議	<ul style="list-style-type: none"> 第3回講演会の申込状況および今後のイベントについて
1月29日 (午前) (午後)	第3回講演会	<ul style="list-style-type: none"> テーマ「幸手に在住した天保の国学者『橘 守部先生』の業跡と、私の昭和史」 講師: 平井 愧祐 氏
	主屋見学会	<ul style="list-style-type: none"> 本家主屋見学会
	第20回会議	<ul style="list-style-type: none"> 本日開催の第3回講演会ならびに見学会反省事項
2月 2日	第21回会議	<ul style="list-style-type: none"> 決算報告書について
2月11日	イベント	<ul style="list-style-type: none"> 石畳を創ろう
2月19日	第22回会議	<ul style="list-style-type: none"> 決算報告書のまとめ

(4) 今後の活用

これまで実践した活動をもとに、引き続き次のような企画を計画している。

① まちなか活性化の核拠点としての活用

さくらまつり協賛行事でお茶会の開催、木や竹を使ったおもちゃ作りの指導等コミュニティーセンター機能としての活用

② セミナーの定例化

平成23年4月より宿場町幸手の歴史の講演会をシリーズ化予定

③ 交流事業

行田市、蕨市等まちづくりの先進事例を視察研修

④ 旧日光街道宿場町サミット

北千住から始まる旧宿場町を一堂に会して、町の活性化に繋げることを模索する。

⑤ 主屋修理完成報告会

この事業に係わったヘリテージサポーターや近隣の市民に感謝の意を表したい。

⑥ フリーマーケット、ガレージセール

主屋および周辺を利用したイベントをしかける。

⑦ 展示会への利用

岸本家所有の古民具、ガラス乾板の写真、サークル活動における作品展等の開催

⑧ 伝統的建築物の指定を目指す

(5) 岸本家主屋工事経過

片付け準備 (7月18日～)

揚げ家 (9月22日～)

解体、曳き家準備 (8月18日～)

既存外壁撤去補修・外壁下地 (11月14日～)

ジャッキアップ (8月20日～)

既存瓦撤去・屋根工事 (11月30日～)

曳き家 (8月23日～)

内外造作仕上げ工事 (12月16日～)

地盤改良 (9月1日～)

石畳工事 (2月7日～)

遣り方～基礎 (9月4日～)

完成 (2月28日)

曳き家 (9月18日～)